

# 国宝 伎楽面

法隆寺に伝えられた古代の仮面



古代から今日に至るまで、日本では数々の仮面芸能が栄え、これらに用いられる多種多様な仮面が造られてきました。室町時代に大成した能や狂言、中世以降に宮廷で好まれた舞楽がよく知られますが、こうした芸能で用いられる仮面の、いわば源流といえるのが伎楽面です。伎楽は、飛鳥時代に大陸からもたらされ、奈良時代には各地の寺院で上演されましたが、中世以降にほかの芸能が伸長する一方で廃絶し、演目などの詳細はわかりません。

伎楽の振興に努めたとされる聖徳太子ゆかりの法隆寺に伝来し、現在東京国立博物館(以下、当館)に収蔵される31面の伎楽面は、幻の芸能である伎楽を知るうえで欠かせない遺品です。とりわけ、現存する伎楽面のうち、もっとも古く飛鳥時代に制作された仮面が多く含まれること、いずれも出来栄が優れていることが高く評価され、このたび一括して国宝に指定されました。本誌では31面すべてを掲載するとともに、その魅力を紹介します。保存状態に配慮し、法隆寺宝物館1階第3室で金・土曜日に通年公開しておりますので、ぜひ展示をご覧ください。幸いです。

## National Treasure **Gigaku Masks** Historic Masks Passed Down at Hōryūji Temple

Japan has a rich history of masked drama. Famous examples include Noh and its comic counterpart *kyōgen*, which were both formally established during the Muromachi period (1392–1573). Masks are also a feature of *bugaku*, a form of dance drama that flourished at the imperial court from the medieval period onward. The origin of all Japan's masked dramas, however, can be traced to *gigaku*, a type of religious theater introduced from mainland Asia in the early 7th century. *Gigaku* performances enjoyed immense popularity at Buddhist temples across Japan but were gradually replaced by other art forms during the medieval period. As a result, much about *gigaku* remains unknown, including the content of its performances.

The Tokyo National Museum currently owns 31 *gigaku* masks. They were originally preserved at Hōryūji Temple, a historic Buddhist site with close ties to the revered statesman Prince Shōtoku (574–622). The Museum's masks are among the oldest to have survived to present day. In recognition of their rarity and outstanding artistry, they have collectively been designated a National Treasure. This pamphlet offers a close-up look at all 31 of the Museum's masks.

# 1 大陸からもたらされた伎楽

## Gigaku's Arrival from Mainland Asia

もともと仏教音楽を指すことばである「伎楽」は、日本では寺院で上演された仮面劇を意味します。聖徳太子の伝記には、推古20年(612)に百済人の味摩之がもたらし、太子が奈良の桜井で人びとに教えさせたと伝えられます。奈良

時代に聖武天皇が東大寺など官立寺院に伎楽面を多数納めたことで、各地に普及しました。その後、衰退したため内容は明らかではありませんが、仏教に取材しつつも面白味のある演目が入びとを楽しませたようです。

# 2 国宝の伎楽面

## Gigaku Masks Designated a National Treasure

かつては各地の寺院で上演された伎楽ですが、中世頃には廃絶したため仮面もほとんど残っていません。法隆寺、東大寺、正倉院に伝えられた約200面のうち、飛鳥時代の仮面を含むのは法隆寺伝来分のみであり、江戸時代には聖徳

太子ゆかりの宝物として広く知られていました。明治11年(1878)に皇室へ献上されてからは、博物館(現在の当館)で「法隆寺献納宝物」として親しまれており、現存最古の伎楽面を含む一群として令和7年(2025)に国宝に指定されました。

# 3 伎楽に登場するキャラクター

## Gigaku Characters

今日ではその内容がわからない伎楽でも、役柄の名前だけは、伎楽面そのものに記された銘文や当時の史料からおおよそ判明しています。法隆寺や西大寺に伝えられた奈良時代の財産目録によると14種23面を一式としたようで、一部議論があるものの、現存する仮面の名称はこれにもとづいています。具体的な演目については、鎌倉時代の音楽書に伝承されるものが唯一の手がかりであり、古代から変容しているとみられますが一部その内容を紹介します。

Though little is known about the roles played in *gigaku*, their approximate names have been identified from inscriptions on masks and historical sources. The only other clues about the kinds of stories told in *gigaku* performances are found in musical notation from the Kamakura period (1192–1333). That content is introduced here but presumably differs somewhat from *gigaku*'s original form in the 7th century.

3-1 悪者をこらしめる力士



宮廷女性を思わせる真女を口説こうとする真女を助けるために現れるのが力士です。仁王としても知られる金剛力士のうち、口を閉じている方を力士と呼ぶようです。真女は、もともと東南アジア系の人びとを指しますが、中国・唐時代には鬼のようなイメージでとらえられていました。

**Guardian Who Punishes Evil Doers**  
When an evil doer wearing the *konron* mask attempts to seduce a court lady in the *gojo* mask, a guardian in the *rikishi* mask appears to rescue her. *Gojo* ("woman of Wu") is the only female mask in *gigaku*.

3-2 子どもを連れてお寺参り



老年の仮面は太孤父と呼ばれ、太孤児とされる子どもを2人引き連れて現れます。年齢差を考えると孫でしょうか、一緒に「仏前へ参詣」といいます。

**Temple Patron Accompanied by Children**

The *taikofu* mask represents an elderly man. He is accompanied by two children in *taikoji* masks, perhaps his grandchildren. Together they worship before a Buddhist altar.

3-3 酔っぱらった西アジアの王さま



酔胡王とは、酒に酔った西アジアの王を指します。酔胡従は同じくその家来で、8人で一組とみられます。伎楽の終幕にあたり、酒宴を演じたようです。

**Inebriated King from West Asia**

The *suiko* mask represents a carousing king from West Asia. The *suikoju* masks are worn by his retainers, who appear to have comprised a retinue of eight. These figures are believed to have enacted a drinking party at the end of *gigaku* performances.

# 国宝 伎楽面 全31面

## The Thirty-One Masks in the Collection

この伎楽面31面は、材質技法によって3種類に分類できます。木造面のうち、19面はクスノキ材、9面はキリ材を用いて制作され、さらに乾漆面が3面含まれます。当時の仏像にも好まれたクスノキ材の面がもっとも古く、奈良時代にかけてより軽量で実用に適したキリ材が選ばれるようになったようです。乾漆は、

麻布を漆で固めて成形する技法で、軽量かつ耐久性に優れるため奈良時代における仏像制作の流行が取り入れられたと考えられます。31面のなかには複数のセットが混在するほか、クスノキ材製には未完成の面も含まれるなど、伎楽面の制作と普及を知るうえで貴重な資料といえます。

### 凡例

伎楽面は材質と技法によって制作時期が推測されています。

材質は以下の通り色分けして示し、各図版に名称(和英)、制作年代(和英)を付しました。

英語の名称の末尾の[N-00]は、当館における所蔵番号を表わします。

本誌掲載の作品を展示していない場合があります。

- クスノキ製彩色  
Painted camphor wood
- 乾漆製彩色  
Painted dry lacquer
- キリ製彩色  
Painted paulownia wood
- 未完成面 クスノキ製  
Camphor wood



きかくめん ししこ  
Gigaku Mask: Shishiko [N-208]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん ちどう  
Gigaku Mask: Chido [N-209]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん ごこう  
Gigaku Mask: Goko [N-210]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん ごじょう  
Gigaku Mask: Gojo [N-211]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん ごんこう  
伎楽面 金剛  
Gigaku Mask: Kongō [N-212]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん ごんこう  
伎楽面 金剛  
Gigaku Mask: Kongō [N-213]  
奈良時代・8世紀 | Nara period, 8th century



きかくめん ごんろん  
伎楽面 崑崙  
Gigaku Mask: Konron [N-214]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん かるら  
伎楽面 迦楼羅  
Gigaku Mask: Karura [N-215]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん たいこふ  
伎楽面 太孤父  
Gigaku Mask: Taikofu [N-216]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん たいこじ  
伎楽面 太孤兒  
Gigaku Mask: Taikoji [N-217]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん たいこじ  
伎楽面 太孤兒  
Gigaku Mask: Taikoji [N-218]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん すいごう  
伎楽面 酔胡王  
Gigaku Mask: Suiko [N-219]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん すいごじょう  
伎楽面 酔胡徒  
Gigaku Mask: Suiko [N-220]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん すいごじょう  
伎楽面 酔胡徒  
Gigaku Mask: Suiko [N-221]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん すいごじょう  
伎楽面 酔胡徒  
Gigaku Mask: Suiko [N-222]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん すいごじょう  
伎楽面 酔胡徒  
Gigaku Mask: Suiko [N-223]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん ししこ  
伎楽面 師子兒  
Gigaku Mask: Shishiko [N-224]  
飛鳥～奈良時代・8世紀 | Asuka-Nara period, 8th century



きかくめん ごじょう  
伎楽面 呉女  
Gigaku Mask: Gojo [N-225]  
飛鳥～奈良時代・8世紀 | Asuka-Nara period, 8th century



きかくめん かるら  
伎楽面 迦楼羅  
Gigaku Mask: Karura [N-226]  
飛鳥～奈良時代・8世紀 | Asuka-Nara period, 8th century



きかくめん りきし  
伎楽面 力士  
Gigaku Mask: Rikishi [N-227]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん りきし  
伎楽面 力士  
Gigaku Mask: Rikishi [N-228]  
飛鳥～奈良時代・8世紀 | Asuka-Nara period, 8th century



きかくめん ごんこう  
伎楽面 金剛  
Gigaku Mask: Kongō [N-229]  
飛鳥～奈良時代・8世紀 | Asuka-Nara period, 8th century



きかくめん ばらもん  
伎楽面 波羅門  
Gigaku Mask: Baramon [N-230]  
飛鳥時代・7世紀 | Asuka period, 7th century



きかくめん すいごう  
伎楽面 酔胡王  
Gigaku Mask: Suiko [N-231]  
飛鳥～奈良時代・8世紀 | Asuka-Nara period, 8th century



きかくめん すいごじょう  
伎楽面 酔胡徒  
Gigaku Mask: Suiko [N-232]  
飛鳥～奈良時代・8世紀 | Asuka-Nara period, 8th century



きかくめん すいごじょう  
伎楽面 酔胡徒  
Gigaku Mask: Suiko [N-233]  
飛鳥～奈良時代・8世紀 | Asuka-Nara period, 8th century



きかくめん りきし  
伎楽面 力士  
Gigaku Mask: Rikishi [N-234]  
奈良時代・8世紀 | Nara period, 8th century



きかくめん すいごじょう  
伎楽面 酔胡徒  
Gigaku Mask: Suiko [N-235]  
飛鳥～奈良時代・8世紀 | Asuka-Nara period, 8th century



きかくめん ばらもん  
伎楽面 波羅門  
Gigaku Mask: Baramon [N-236]  
奈良時代・8世紀 | Nara period, 8th century



きかくめん すいごじょう  
伎楽面 酔胡徒  
(未完成)  
Gigaku Mask: Suikoju (unfinished) [N-237]  
飛鳥～奈良時代・7～8世紀 | Asuka-Nara period, 7th-8th century



きかくめん すいごじょう  
伎楽面 酔胡徒  
(未完成)  
Gigaku Mask: Suikoju (unfinished) [N-238]  
飛鳥～奈良時代・7～8世紀 | Asuka-Nara period, 7th-8th century

# よみがえる 伎楽面

Masks Brought Back to Life

現在は彩色の多くが剥落し、飾りも失われた部分が多い伎楽面ですが、現存する部分を詳細に観察すると、制作当時はとても華やかな姿であったことがわかります。当館では、平成30年(2018)に文化財活用センターとともに呉女と迦楼羅の復元模造を制作しました。X線CT撮影や赤外線撮影など科学分析を実施しながら検討を重ね、本来の姿を再現したものです。法隆寺宝物館中2階の「デジタル法隆寺宝物館」展示に際して制作した関連動画(下記)とあわせてご覧ください。

## こじょ 呉女

伎楽における唯一の女性面。中国の宮廷女性をモチーフとし、大きな椎児輪こいりんに結んだ髻もみぢと、金属製の美しい髪飾りが特色です。失われた鼻も仏像を参考に再現しました。



## かるら 迦楼羅

インド神話に登場するガルータは、仏教に取り入れられて迦楼羅として信仰されました。伎楽では、虫をつばむ仕草をして舞台を走り回るとされます。同じく鳥をモチーフとする舞楽の崑崙くわんわんハセ仙を手がかりに、嘴から鈴を吊り下げた形で復元しました。



復元した呉女の装束

関連動画 文化財活用センター YouTube

【デジタル法隆寺宝物館】伎楽と法隆寺宝物館  
—よみがえる古代の至宝4

Related videos are now available on YouTube. (Available in Japanese, English, Chinese, and Korean.)





N-208 うら

### 獅子児 (ししこ [N-208])

ほが朗らかな笑顔を浮かべる子どもの仮面で、2人一組として獅子を伴って登場したようです。小ぶりの仮面であるため、実際に子どもが演じたかもしれません。頭頂部には、植毛で表わした髪を押

さえる銅板を置き、後頭部を覆う別材を付ける点は伎楽面ならではの特色です。このページの裏面には仮面の正面を掲載しており、切り取ると伎楽面として顔にあてることができます。ぜひ伎楽面を実際にご体験ください。

伎楽面を切り抜いてお面にしよう！ Cut out this mask to try your hand at *gigaku*!



キリトリ

N-208 おもて

国宝 伎楽面 法隆寺に伝えられた古代の仮面 令和7年(2025)10月3日発行

執筆・編集:西木政統 撮影:藤瀬雄輔(以上、東京国立博物館) 翻訳:レベッカ・ハーモン(WritingWise)

デザイン・制作・印刷:株式会社D\_CODE 編集・発行:東京国立博物館 ©2025 東京国立博物館 Tokyo National Museum

